

前年用（表）

収入計算書[前年（平成30年1月～12月）用]

私は、日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、収入に関する状況は以下のとおりであることを報告します。また、この収入計算書に基づき奨学金の申込み（「スカラネット」への入力）を行います。

○学校名 長崎 大学 工学 研究科

○課程（該当の数字に○）：

1. 修士・博士前期課程 2. 博士後期課程 3. 博士医・歯・薬（4年制）・獣医学課程 4. 法科大学院

○氏名 長崎 花子 ○学籍番号 52117999

↓収入に関する証明書を参考に記入

[各項目 1万円未満切り捨て]

1. 前年（平成30年1月～12月）の収入額		収入額（A）
収入項目		
定職 (◎)	定職（本人）	(年額) 万円
	定職（配偶者） [該当者のみ]	(年額) 万円
アルバイト (◎)	アルバイト1	(年額) 47 万円
	アルバイト2	(年額) 5 万円
	アルバイト3	(年額) 万円
父母等からの給付額（★） ※裏面に父母の署名・押印必要		(年額) 54 万円
奨学金		(年額) 60 万円
その他の収入（利子・配当・不動産・年金等の公的手当・預貯金の取崩等）		(年額) 万円
ア	収入額合計（※）	(年額) 166 万円

2. 申込者本人1人にかかる前年（平成30年1月～12月）の支出額		支出額
支出項目		
日常生活費（食費・住居費・光熱費等）（☆）	(年額)	96 万円
授業料	(年額)	54 万円
通学費（定期代等）	(年額)	万円
その他の費用（書籍費・遊興費・課外活動費等）	(年額)	12 万円
支出額合計（※）	(年額)	162 万円
[記入時の注意事項]		
◎複数あって欄が不足する場合は、合計額を記入（アルバイトは1・2に記入後、3に残りをまとめて記入）。ただし、証明書類は全て提出してください。		
★計上する場合、前年用裏面に月別内訳を可能な限り記入してください。また、父母等給付者の自署・押印が必要です。		
☆自宅通学者は、世帯一人当たりの経費（世帯年間経費/家族人数）を記入してください。		

※「収入額合計」 ≥ 「支出額合計」とならない場合は、その事由を記載してください。

【事由】

この収入計算書に記入した内容に基づき、前年と本年見込（前年に対して変動が見込まれる場合に限る）の収入金額をスカラネットに入力してください。
必要となる証明書類は裏面に添付してください。 [裏面につづく]

前年用（裏）

※証明書貼り付け不要

自宅生については

「日常生活費（世帯経費／家族数）」

も父母からの給付になります。

父母へお金を入れている場合はその金額を差し引いてください。

裏面についてはHPから様式：収入計算書（父母等からの給付額について）をプリントアウトし利用しても構いません。

★父母等からの給付額について

下記の者が日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、申込者本人への給付額については、以下のとおりであることに相違ありません。

**必ず父か母に自署・押印を
お願いすること**

○申込者氏名 長崎 花子

○給付者氏名【自署・押印】 長崎 太郎 ○申込者との関係（続柄） 父

平成30年	日常生活費 (食費・住居費等)	授業料	通学費 (定期代等)	小遣い・ その他	平成30年	日常生活費 (食費・住居費等)	授業料	通学費 (定期代等)	小遣い・ その他
1月	円	円	円	円	8月	円	円	円	円
2月					9月				
3月					10月		27万		
4月		27万			11月				
5月					12月				
6月					小計	円	円	円	円
7月					合計	54			万円

※各項目は千円単位（千円未満切り捨て）、合計欄は1万円未満を切り捨てて記入してください。
月別に記入できない場合は、年額のみを小計欄・合計欄に記入してください。

前年用収入計算書（裏）

【用紙②】

本用紙は、「A3サイズ1枚」により構成されています。
「奨学金案内」冊子及び【用紙①】より外してご利用ください。
なお、和暦は西暦に適宜読み替えてください。

本年見込用(表)

収入計算書[本年見込(平成31年1月~12月)用]

私は、日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、収入に関する状況は以下のとおりであることを報告します。また、この収入計算書に基づき奨学金の申込み(「スカラネット」への入力)を行います。

○学校名 長崎 大学 工学 研究科
○課程(該当の数字に○):
1. 修士・博士前期課程 2. 博士後期課程 3. 博士医・歯・薬(4年制)・獣医学課程 4. 法科大学院

○氏名 長崎 花子 (長崎) ○学籍番号 52119999

※注意!
前年中に奨学金を借りていた場合は
Aにはなりません。

○B 本年見込の収入については、前年の収入金額に対して、変動しますので、以下のとおり報告します。

- 以下、記入不要。
- 「1. 本年の収入見込額」の証明書類も提出不要。
- 1. 2. の各項目を全て記入(前年と変動のない同じ項目も同じ金額を記入)。
- 1. の証明書類は変動のあるもののみ提出。

↓収入に関する証明書を参考に記入

[各項目1万円未満切り捨て]

1. 本年(平成31年1月~12月)の収入見込額 【証明書類必要】		
	収入項目	収入額(B)
定職 (◎)	定職(本人)	(年額) 万円
	定職(配偶者) [該当者のみ]	(年額) 万円
アルバイト (◎)	アルバイト1	(年額) 47 万円
	アルバイト2	(年額) 5 万円
	アルバイト3	(年額) 万円
	父母等からの給付額(★) ※裏面に父母の署名・押印必要	(年額) 54 万円
	奨学金 (申込中や平成31年3月までに終了したものは除く)	(年額) 万円
	その他の収入(利子・配当・不動産・年金等の公的手当・預貯金の取崩等)	(年額) 60 万円
イ	収入見込額合計(※)	(年額) 166 万円

2. 申込者本人1人にかかる本年(平成31年1月~12月)の支出見込額 [申告のみ:証明書類不要]	
支出項目	支出額
日常生活費(食費・住居費・光熱費等)(☆)	(年額) 96 万円
授業料	(年額) 54 万円
通学費(定期代等)	(年額) 万円
その他の費用 (書籍費・遊興費・課外活動費等)	(年額) 12 万円
支出見込額合計(※)	(年額) 162 万円
[記入時の注意事項]	
◎複数あって欄が不足する場合は、合計額を記入(アルバイトは1・2に記入後、3に残りをまとめて記入)。ただし、証明書類は全て提出してください。	
★計上する場合、本年見込用裏面に月別内訳を可能な限り記入してください。また、父母等給付者の自署・押印が必要です。	
☆自宅通学者は、世帯一人当たりの経費(世帯年間経費/家族人数)を記入してください。	

※「収入見込額合計」 ≥ 「支出見込額合計」とならない場合は、その事由を記載してください。

【事由】

必要となる証明書類は裏面に添付してください。

[裏面にづく]

本年見込の収入について、前年と変動しない場合、この面の記入は必要ありません。

本年見込用(裏)

証明書類貼付欄

- ・証明書類
- ・収入年額欄に記入し

学校書類

※証明書貼り付け不要

自宅生については「日常生活費（世帯経費／家族数）」も父母からの給付になります。父母へお金を入れている場合はその金額を差し引いてください。

裏面についてはHPから様式：収入計算書（父母等からの給付額について）をプリントアウトし利用しても構いません。

記入欄

★父母等からの給付額について

下記の者が日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、申込者本人への給付額については、以下のとおりであることに相違ありません。

必ず父か母に自署・押印をお願いします

○申込者氏名 長崎 花子

○給付者氏名【自署・押印】 長崎 太郎 ○申込者との関係（続柄） 父

平成31年	日常生活費 (食費・住居費等)	授業料	通学費 (定期代等)	小遣い・ その他	平成31年	日常生活費 (食費・住居費等)	授業料	通学費 (定期代等)	小遣い・ その他
1月	円	円	円	円	8月	円	円	円	円
2月					9月				
3月					10月		27万		
4月		27万			11月				
5月					12月				
6月					小計	円	円	円	円
7月					合計	54			万円

※各項目は千円単位（千円未満切り捨て）、合計欄は1万円未満を切り捨てて記入してください。
月別に記入できない場合は、年額のみを小計欄・合計欄に記入してください。

育生月と才全身、2月たき匡の在置とは才不原文にたてましますのて、こた着くたとし